

# 3

## 実施団体の活動

### 金沢大学 演劇部劇団らくだ『キャッシュカード詐欺』

代表者：金沢大学人間社会学域人文学類 准教授 佐藤 文彦

#### 応募動機（企画提案書より）

演劇部では、日頃から大学生などを対象に公演を行っているものの、高齢者を対象とした演目や社会問題を扱う演目を企画することは少ないため、この機会に実施したいと考えました。

#### テーマ選定理由（企画提案書より）

高齢者の消費者被害として、電話を使用するものが大変多く、電話を使った手口は詐欺被害の中でも最も身近であるとともに、悪質な新しい手口がどんどん増加している分野でもあるため、テーマとして選定しました。

#### あらすじ

ある日、1人暮らしの金子おばあちゃんの家、「金沢銀行」をかたる電話があり、おばあちゃんの銀行口座が不正に利用されていると言われます。

驚く金子おばあちゃんに、偽物の銀行員（詐欺師）は、預金を悪用されないためにはキャッシュカードと暗証番号を変更する必要があるので、「ご自宅にキャッシュカードを取りに伺う」と言います。



信じた金子おばあちゃんは、住所を教えてしまい、やってきた男にキャッシュカードと暗証番号を書いた紙を渡してしまいます。

数日後、訪ねてきた孫の沢子ちゃんにこれまでのことを話すと「それ、詐欺だよ！」と言われます。



その後銀行や警察に相談すると、金子おばあちゃんの預金がほとんど引き出されていたことがわかりました。

最後に、劇の場面を振り返りながら、だまされないためのポイントを解説しました。

～！注意すべきポイント！～

- ①銀行や警察などもっともらしい肩書や見た目にだまされない
- ②銀行や警察がキャッシュカードを受け取りに来たり、暗証番号を聞き出すことは絶対ない



- ③怪しい電話や消費者トラブルは消費者ホットライン「188」に相談

### 【参加学生の感想】

今回、詐欺被害防止についての寸劇を制作するにあたって、セリフを考えたり実際に練習したりすることで、詐欺グループはもっともらしい身分を使って高齢者に信じ込ませ、不安を煽るように話を進めていくことがわかりました。自分たちで調べ、考えた寸劇を披露することで、資料を読むだけでは伝わらない臨場感を以て詐欺の手口をお伝えすることができたと思います。

またユーモアを交えて楽しく、分かりやすく学ぶことで、より皆さんの記憶に残りやすくなったのではないかと感じました。私たち自身も詐欺被害について勉強をすることができたのはもちろん、普段はあまり接することのない石川県各地の高齢者の方々とお話をし、練習の成果を見て頂けてとても貴重な体験となりました。(2年)

### 【講評】

名札などの小道具がよくできていて見やすく、そのためとてもわかりやすい劇になっていました。暗証番号「8931 (はくさい)」のごろ合わせでは毎回笑いがおきるなど、楽しい雰囲気の中で、しっかりと注意喚起ができていました。



銀行員や警察がキャッシュカードを取りに来たり、暗証番号を聞き出すことはありません！